



1年 授業実践

- 1 主題名・教材名** どんな仕事もみんなのために C 勤労、公共の精神
 「こくばんとうばん」出典：「小学どうとく1 はばたこう明日へ」(教育出版)
- 2 本時のねらい** わたしの迷いや行動について考える学習を通して、働くことよさに気づき、みんなのために働こうとする態度を育てる。

3 展開

段階	○学習活動と主な発問	・児童の反応	・指導上の留意点 ○評価	時間
導入	○当番活動に関するアンケートを提示する。	・クラスのみんなは当番活動が好きで進んで仕事をやっている。	・事前のアンケートの結果を提示し、本時のねらいの方向付けをする。	2
展開	○条件・状況を知る。			2
	○登場人物 わたし(みのり)、あおいさん、しんさん、先生 ○条件・状況 気が進まないまま、黒板当番になった。25分休み、遊びに誘われる。			
	○教師の読み聞かせを聞く。		・主人公の気持ちを考えながら聞くように伝える。	2
	○心に残ったところを出し合う。	・「黒板当番がんばろうね。」と言われたところ。 ・「早くいこうよ。」と言われたところ。 ・顔を見合わせてにっこり笑ったところ		3
	1 あおいさんに「こくばんそうじがんばろうね!」と言われたとき、どんなことを思ったでしょうか。			
	・やっぱり保健当番になりたかった。 ・本当はやりたくないな。 ・休み時間が少し減っちゃうな。	・黒板当番は25分休みに遊びに行くのが遅れてしまうため、気が進まない気持ちに共感させる。	5	
② しんさんに「早く行こうよ!」と言われたとき、どんなことを考えたでしょうか。				
		・遊びに行きたいな。 ・あおいさんに任せよう。 ・やっぱりみんなが困るかな。 ・仕事をしてから遊ぼう。 あそびにいきたいけど、しごとともだいじだなあ…。	・遊びの誘いと黒板当番の仕事で迷う「わたし」の顔を黒板に貼り、意見を二つに分けて板書する。 ・「わたし」の気持ちの揺れを「心のバロメータ」を使って可視化することで自分の考えを表し、周りに広める。 ・行動を答えた児童に対してなぜそう考えたのかを問うことで、行動の奥にある気持ちを明らかにしていく。	12
	(補)迷っていたのに、仕事をしようと決めたのはなぜだろう。	・決められた仕事だから。 ・あおいさんがやっているから。 ・先生に注意されるから。 ・黒板が消えていないとみんなが		3

		<p>困るから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板をきれいに消すと、みんなが気持ちよく授業を受けられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの役に立つことのうれしさややりがいに気付かせるようにする。 	
	<p>3 あおいさんとかおを見あわせてにっこりわらったとき、どんな気持ちだったでしょうか。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・先生に褒められて嬉しい。 ・みんなが喜んでくれたから頑張ってたよ。 ・最後まで仕事をやりきるとすっきりする。 ・みんなの役に立ててよかった。 ・これからもみんなのために一生懸命仕事をしよう。 ・今はやりたくないと思うこともみんなのために頑張ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生に褒められて嬉しい」等の発言があった場合は、「褒められるから仕事をするの？」と発問をし、どんな気持ちで仕事をしたらよいかについて考えられるようにする。 ・頑張ってたよという「わたし」の気持ちに共感させることをとおして、働くことへの意欲を高められるようにする。 	7
	○今までの自分の仕事を振り返り、これからどんな気持ちで仕事をしていきたいかを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなに喜んでもらえるように丁寧に仕事をしたい。 ・自分もみんなもいい気持ちになれるように仕事をしたい。 ・みんなが気持ちよく過ごせるように頑張りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用することで、自分自身についてじっくりと考えられるようにする。 <p>○今までの自分を振り返り、どのような気持ちで仕事をしたらよいかを考えているか。(ワークシート・発言)</p>	6
終末	<p>○栄養技師の熊谷先生の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食当番がみんなのために進んで仕事してくれていて嬉しい。ありがとう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が仕事して喜んでくれている人がいて嬉しい。 ・わたしも給食当番の時に、おぼんや食器をきれいに重ねよう。 ・みんなに喜んでもらえるような仕事をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の生活を振り返り、どんな仕事もみんなのために働くことへの意欲付けをする。 	3



4 授業の成果(○)と課題(●)

- 「心のバロメーター」を活用したことで、気持ちの表し方の幅が広がった。また、主人公の気持ちの変容を表すことにも繋がった。
- ゲストティーチャーからの話を聞くことで、どんな仕事でもみんなのためになっているということを実感でき、今後の当番活動への意欲が高まった。
- 友達の考えを自分の考えと比べながら聞くことを通して、「○○さんと似ていて、～です。」や「○○さんに付け足して、～です。」などと、児童の発表の仕方が上手になった。
- 授業の中では、みんなのために働こうとする意欲が高まっていたが、継続できるように声掛けを続けていくことが必要である。

5 指導講評(元埼玉県道徳教育研究会会長 吉田 正先生)

- ・「心のバロメーター」は葛藤場面で活用でき、指名するときや友達同士での話合いのときに使える。少ない色について問い返していくことによって議論が深まるので今後も有効活用できる。
- ・対話を繰り返す必要性がある。低学年は思いと表現は違うので、「そのところもう少し教えてくれる？」などと児童との対話を大切にしていけるとよい。対話によって、相手と自分を結びつけるようにする。